

# 温排水等漁業調査結果について

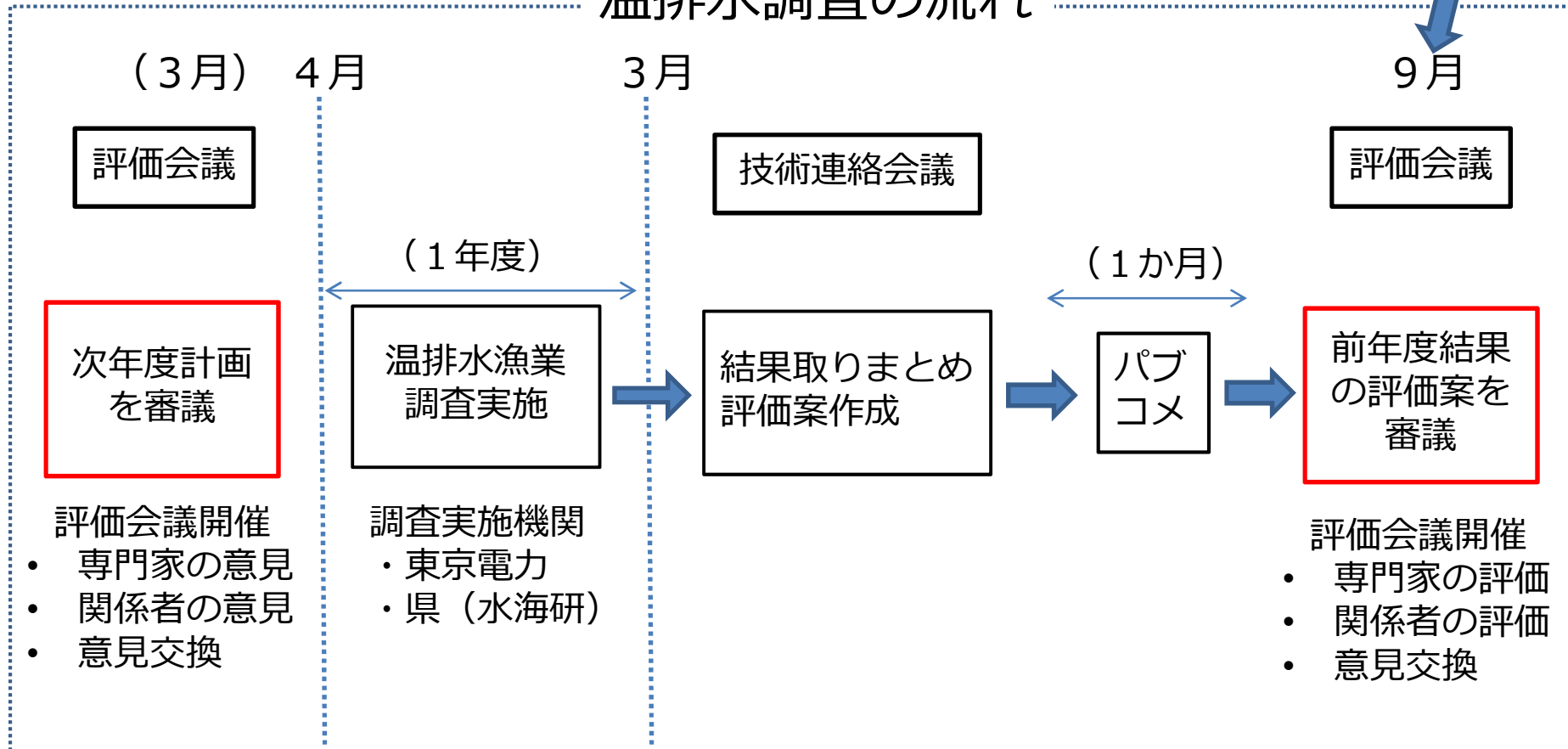
## <目的>

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所周辺海域への温排水の影響を把握する
  - ・ 安全協定に基づき、県、東京電力が調査を実施
- ※昭和58年9月から調査開始

今回

9月

## 温排水調査の流れ

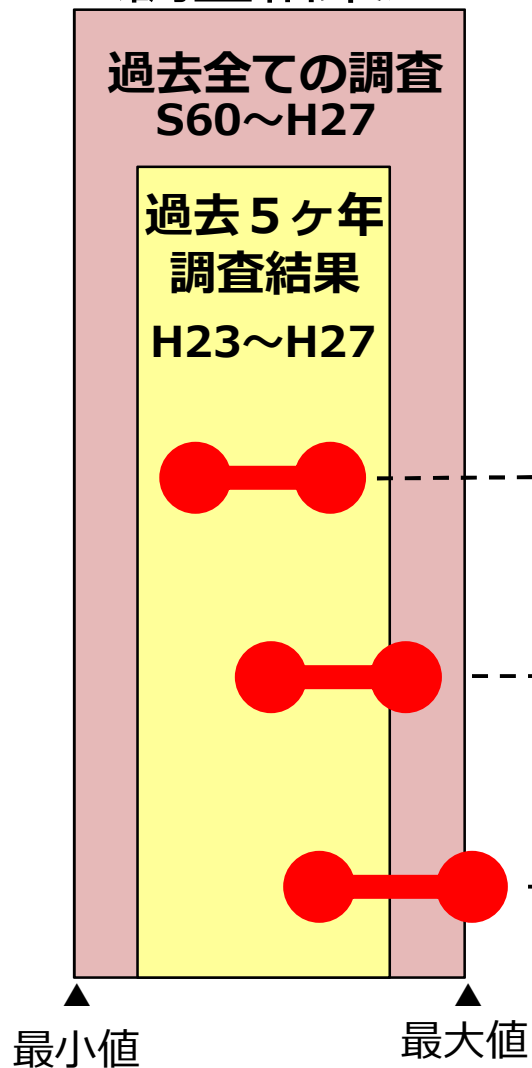


# <評価方法>

○水温・塩分・流況・水質・底質・海生生物

調査結果を**対照期間**の結果の範囲と比較して**判断**

## <調査結果>



●● : 今回調査結果範囲

過去5ヶ年調査結果の範囲内

過去5ヶ年調査結果を越え  
過去全ての調査結果の範囲内

過去全ての調査結果の範囲を  
超える

## <判断結果>

過去と同様の傾向

傾向の変化について  
検証

## ○定点連続水温（東京電力）

観測値（ $\Delta t$ ）を過去すべての値と比較し、平均値との温度差をもとに判断

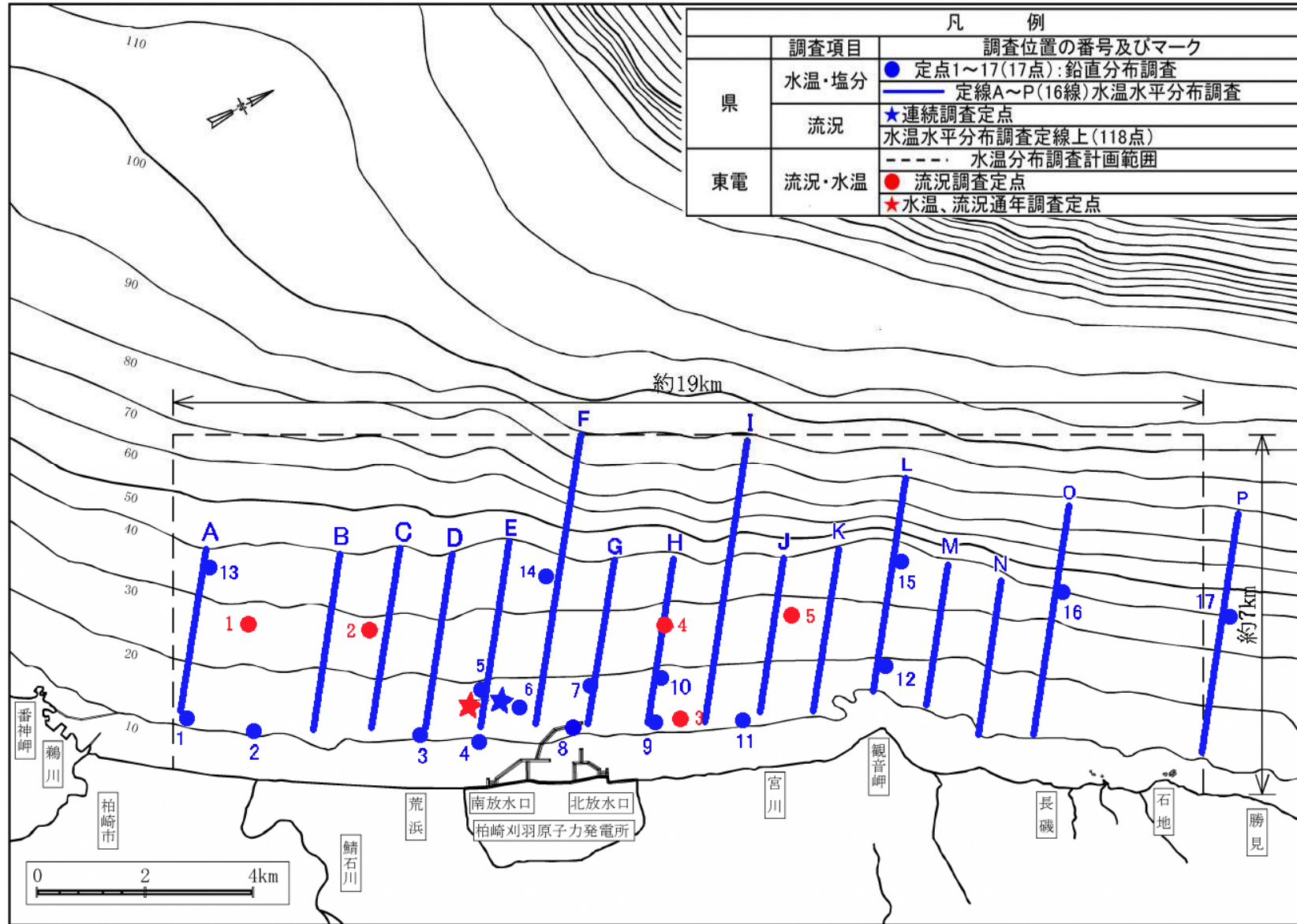
		測定 データ			判断
+2.0℃	≧	$\Delta t$			はなはだ高め
+1.5℃	≧	$\Delta t$	<	+2.0℃	かなり高め
+0.5℃	≧	$\Delta t$	<	+1.5℃	やや高め
-0.5℃	≧	$\Delta t$	<	+0.5℃	平年並み
-1.5℃	≧	$\Delta t$	<	-0.5℃	やや低め
-2.0℃	≧	$\Delta t$	<	-1.5℃	かなり低め
		$\Delta t$	<	-2.0℃	はなはだ低め

## ○漁業資源（新潟県）

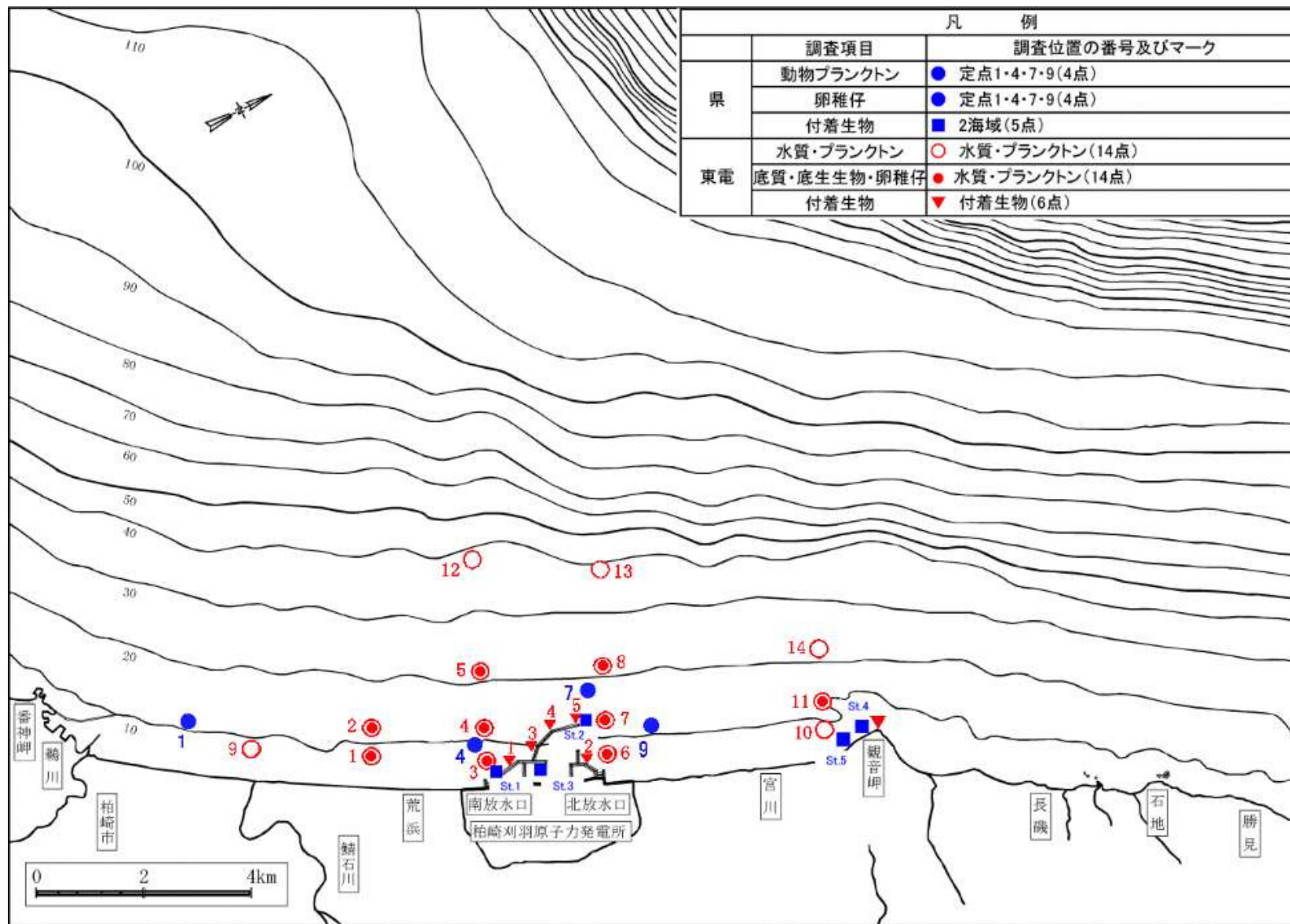
漁獲量についてモニタリング

温排水以外の要因で大きく変化することから、評価の対象としていない

# <水温・流況調査定点>



# ＜水質・底質・海生生物調査定点＞



# 平成28年度温排水等漁業調査（概要）＜新潟県＞

○測定方法・採取地点の変更  
なし

○調査項目と判断結果

## 1. 物理的環境調査

項目	判断結果	備考
水温・塩分	過去の調査結果と同様の傾向	
流況	//	

## 2. 生物的環境調査

項目	判断結果	備考
動物プランクトン	過去の調査結果と同様の傾向	
卵・稚仔	//	
付着生物	//	
漁業資源	柏崎：例年並み、出雲崎：前年並み	

# 平成28年度温排水等漁業調査（概要） <東京電力>

○測定方法・採取地点の変更  
なし

○調査項目と判断結果

項目	判断結果	備考
水温	過去の調査結果と同様の傾向	
流況	//	
水質	過去の調査結果と同様の水質を維持	
底質	過去の調査結果と同様の底質を維持	
植物プランクトン	過去の調査結果と同様の傾向	
動物プランクトン	//	
卵	平均個体数が春季に過去最大 ただし、過去の調査結果と同様の傾向	
稚仔	過去の調査結果と同様の傾向	
付着生物	紅藻植物の種類が春季に過去最大 ただし、過去の調査結果と同様の傾向	防波堤付着植物，動物
底生動物	過去の調査結果と同様の傾向	